

# WRI News Letter 70

1978年9月21日 戦争抵抗者インターナショナル日本部 大阪市あべの区旭町2-2-2 WRI

## 9月15・16日「非暴力訓練」の感想 亀井裕仁

神戸エンカウンタースクールの15<sup>th</sup>位の部屋を会場にひらかれた非暴力トレーニングの今回は、よくもわるくもハードトレーニングだった。前回はみんなが仕度をし、一しよにカレーライスを食べるなどの夕食からはじまって、一体感があり人々同僚関係の次元が愛する体験をした。今回は15日の夜一部、16日5・17日朝二部とゆかれ、とくに15日は人数が30人も多く、豪華を一しよにするつもりで、時間がつまっていたため、前回ほど楽しくはなかった。それで翌日午右る時からの夜二部に参加した人は五人ぐらい、その半分は以上は新しい顔ぶれだった。

しかし16日は、トレーナーの両木さんがとてもがんばって、人数が少なくなったこともあり、前回とはまたちがつた家で、とても有意義だった。イノチのせんたくにもなつたし、ぼくは東京からわざわざ参加したのだが、きた甲斐があつた。

★ ★ ★ ★ ★

15日ー印象だけで言えば、「非暴力直接行動トレーニングとは何か」という説明の集りといった感じだった。前回のようには、まづリクツゆきにカラダを動かすということがすくなく、話し合いが中心になつたのが面白くないものにした一因だと思ふ。また、具体的な目前にある問題をどうするか、といったことより、架空仮定の問題を解くという論ずる傾向が強く、討論も抽象的になりがちだった。

たとえば「人達捕」についての意見を出しあつたとき、「コワイ」という意見と、「気にすることはなし」という意見とがわかれてカミアワず、エンエンと続いて、すつかりらけた。ーというところ、多分反省はかなりのようだが、他の参加者と、一対一で話してみたくつた兵など、ぶかつた」と思ふところもある。

ー次頁へつづくー



〈非暴力訓練とは何か〉A5 74頁 500円  
 次回トレーニングの記録と、今迄に行われた行動の記録  
 録音編集・好評すぐ品切れ中の旭川部教員版

宇利乃 本加乃乃安以古登榮 奥天尔乃里

宇利邪藏

16、17日

この日はアメリカWRUの活動家の  
ジョンがトレーナーに加わった。ジョンと三輪、ま  
んのコンビでの、ロッキーフラットへの反核大行動ス  
ライドとVTRの説明は、実際に参加した経験を加え  
詳しくともよかつた。たとえは私たちがデモにし  
ても、キドータイ剛は訓練をうけ経験を活かして日々  
進歩しているのに、こちらの方は十年一日の如くワン  
パターンではどうしようもない。いままでに参加した  
デモをひりかえつてみて、このトレーニングの基本的  
なことさえ知らず、意識的に何もやつてこなかつたと  
強く思った。ぜひすぐ応用したいのだが、このごろあ  
まりデモや集会に出ないのと、グループでない一人参  
加なので、ちよつと応用しようがないというのがぼく  
の現状だ。しかしデモだけではなく、自分のやつてい  
る運動の中や日常のうごきのなかで生かせたらと思っ  
た。あまり自信はないけれど……)

その他、全体的感想として——自意識が強すぎるた  
めか、つい自分のことばかりになるが、トレーニン  
グ中は、自分もひと？感情の起伏が激しくなっている  
ことがわかる。また、主義が同じでない一猪にでき  
ない、とさうのすへ連合もクソもあつたものでは  
ない。頭では考えていても、ゴロの方がついて行  
かない。一しよにやれないとさうのではないが、どう  
しても参加者の一人一人が、どんな立場と考えの人が  
気になった。もつと具体的にいうと、たとえはワリ

仲間なのか、アナ系なのかどうかと……。  
人生経験の不足でロールプレイはどうもうまくい  
かなかつた。もん切り型になつた。

トレーニングが進んでいくにつれて、みんなの心  
がひらかれるのがわかつた。だがおわるとホツとす  
るのはどうしたことだろうか。リラククスしてやつ  
ているつもりでも、かなり緊張していた。そして、終  
アしてみんなと別れたら、感じていた振動が消える  
と、腰が抜けてしまつた。

非暴力トレーニングはまた、理想社会運営の日常  
的な訓練とはなうけれど、(のふなれのせいもある)  
—このままでいくとしたら、理想社会はつかれる  
なア—ということになるかもしない。

**NAMAZU** 英文 Newsletter  
No.2 - SANRIZUKA SPECIAL

No.3 - 特別号<日本の反体制運動は>

The Japanese People's Move-  
ment and the 1980s 85.48P

- Contents ① 1945-1960: Pre AMPO
- Japan ② The JCP splits ③ AMPO
- 1960 ④ The Anti-Vietnam war Str-  
uggle ⑤ Post-1970 Japan: Stag-  
nation to Extremism ⑥ The New
- Left ⑦ After Vietnam: The new left
- Today ⑧ The state of the people -
- ⑨ Anti-pollution ⑩ Anti-war ⑪ Anti-
- discrimination ⑫ Prospects for the
- 1980s ⑬ Character of the 1970s struggle
- ⑭ The 1980s in perspective

222 ¥500-

このニエース定期的にしようという方は、

# アメリカ・シトルツク原究地

## 占視の記録映画「虹の民」

をみる集り (くちくはのり 86-110047)

とき 9月24日 PM 1:14

ところ 東京・板橋区立産業文化公館

映画の前夜、西尾昇さん(ヨーロッパ各国の反原案作民運動)阿木エキオさん(アメリカ反原案運動)と非暴力直接行動)斎藤(自主講座)(日本の反原案運動)の話をかこんで話をまします。

ウリの仲間(在米のみなさん、友知さん)とつてぜひぜひ参加、力を。

### あひひみちから

2日朝

#### ① スティヴ・サンフォードのこと

毎日新聞に「モスクワ4日AP」で「米の反戦団体米ソ両首都で同時デモ」という小さい見出しの記事があった。米国の反戦団体「抗核連盟」WRHは四日、モスクワ赤の広場とワシントンホワイトハウスで米ソ両国の軍備を求めてデモを行った。赤の広場では観光ビザでモスクワ滞在中の同盟のメンバー七人

が旗を掲げてデモ、パンフをまいたが、七人も捕まった。取材中の米ABC放送記者ら三人も連行された。一方ホワイトハウスの庭では、観光客に交じった連盟のメンバーが突然「核兵器反対、核大躍米米りに反対」と叫び旗を揚げたが、11人が警察に拘束された。その後、それから数日してファイルがきてシヤパンタイムスに同じ記事がのり、モスクワの連捕者名にスティヴの名があつた、と云つた。

スティヴは昨夏の平和行進で来日し、ウリ事務所にも二三日泊した。とてもおとなしく自分からは殆ど話をせず、いつもおだやかなほ、之みをうかべて話をききいるタイプだった。英文パンフの「非暴力直接行動とは何か」をよんで、「これは今迄、自分がよんだ、非暴力直接行動論のうち、もつともすぐれなものだ。とても普及された。」と云い、アメリカの友人たちによませた時から、乏しい円のおかげからお金を出して10冊も買って帰つた。そのことでも忘れられない、ウリの友人である。

#### ② ジョンの、日本の運動についての印象

8月のはじめの数日ウリへきたジョンが19日交やつてきた。話をきくと、何とこの一ヶ月半ほどの間に、東海、福岡、女川、敦賀、沖鏡、奄美、長久、川内水俣と、ほとんど日本をひとめぐりしたという。「いや、日本の運動の様子も大分わかつたやう。ジ

10月26日 PM 1:53、向日本礼マツさん公判。大阪地裁。集合せ地裁前一時五分前。しよに傍聴しませぬか。

ヨシがみた日本の運動の印象は？」「うん、肯定する  
奥、批判する笑いさうである」「その批判する笑いは  
何や？」「とていうことでキエことば、

①メンバールや参加者に、女性がとてもすくかひ。

②リーダーにすべてを頼りすぎ、任せすぎる。

③全体的にすこぶるカタクルシク、マジメ主義。エ

イモアやゆとりがない。現クツが先行する。

④反対や阻止だけあって、それに代るものの提唱が  
乏しい。

「では、肯定するところは？」「とすいたら、「それかあ  
なたにも判つてゐるだろう」と進げた。ところで、こ  
のシヨンの批判は「うらん、成るほど」と謙遜思ふ言  
葉として返答してくる。にもかゝらず、ほくらうの運動  
が更なるそのような批判を正しくうけとめないうままで  
さつぱり要らないのは何故だろう？「それにしてもさへ  
肯定面をシヨンがはつきりなやなかつたが、それは  
ことあれこれ弄えていて、とつぜんぼくはガクゼンと  
した。この④にあげた否定面批判は、それをつく  
りそのままで、立場と視角と論理を逆さませれば、ま  
るつきり、肯定的な運動のよい所としてあらわれる  
ではないか！もつと云えば、男の運動としてはそれ  
が当然で当り前で、むしろ組織的にはよいことだとい  
う意味が、自覚されないうままで潜在して、抜きがたくほ  
くらうのうらにある。それがシヨンの批判をどうかと思  
ひながら、運動をいつまでも「さつぱり要らなく」さ

せていることにまちがいない。(入男の運動)とい  
うのは、入男の運動イデオロギーとよびかえてよ  
く、さらに誤解をよめれぬに云えば、入マルクス・レ  
ーニン主義的男の運動イデオロギーがその最たる  
ものだと思ふ。

### 電気料不払いを考ふる集り

9月29日 午後6時半 ところ 梅田太融寺(お吉の  
回付したビラのように入電気料不払いをやる人)で  
なく、「しつかりやれ。がんばれヨ」という「花の  
応援団」にウンときてもらいたいのです。あまり集  
らないのではと心配しています。義理人情の厚さ  
にかけて、ぜひかけつけて下さい。

★成田三三五七の入獄中書翰集を売切れ。再刷を  
近日中に。しばらくおまち下さい。申込みはあ早  
く、ハなみカンパは送共三〇〇円以上を。去る16  
日、彼女もまた千葉刑務所から、東京都葛飾区小菅  
一の方の一、東拘内へ移送されました。

★9月23日24日・入女と反原祭への悔憤をか  
けて、女性たちだけが日高入ヒラまさど交流合宿を  
します。一しめに行きませんか。(向合を400円入)

★10・26原子の日を中心に入原女子力はあんだ！  
大坂旭園向実行会による行華計画がす、入でいま  
す。雑務をこなしてきました。手伝つて下さい。